

トピック(テーマ)	信州の山		
ねらい	信州の山は歴史、信仰、芸術、観光・スポーツ、教育と人々と多様なかわりをもっており、生活になくてはならないものである。山との関わりを改めて考える。		
キーワード	山と歴史 山と信仰 山と芸術 山と観光・スポーツ、山と教育 峠 山城 登山 鎮守の森 遭難 日本の屋根 松本連隊 アルプス登山 姨捨伝説と冠着山 氷壁 槍ヶ岳開山 浅間山 白馬連峰 スキー ウェストン 河野齡蔵 渡辺敏 島木赤彦		
概要を知るためのツール	1	書名	信濃の風土と歴史 [22]
		著者名	長野県立歴史館／編
		出版社	長野県立歴史館
		出版年	2016.3
		内容紹介	平成27年度企画展図録。信州の山について、歴史、信仰、芸術、観光・スポーツ、教育等から総合的に分かる案内版となっている。
	2	書名	定本・信州百峠
		著者名	井出孫六／監修
		出版社	郷土出版社
		出版年	1995年8月
		内容紹介	信州の名だたる140の峠に秘められた歴史とロマンを初めて集大成。ふるさとの峠にまつわる文化と自然を伝える待望の信州の峠百科
	3	書名	函解 山城探訪 [第1集一第19集]
		著者名	宮坂武男／著
出版社		宮坂武男	
出版年		1995－2006	
内容紹介		諏訪資料編、木曾資料編、上田小県資料編、上伊那資料編、松塩筑資料編、安曇資料編、下伊那資料編、佐久北部資料編、佐久南部資料編、更埴・長野資料編、水内資料編、高井資料編、補遺資料編中南信版・東北信版等、19編	
資料リスト	1	書名	目で見る日本登山史
		著者名	山と溪谷社／編
		出版社	山と溪谷社
		出版年	2005.11
		内容紹介	信仰登山に始まった日本の登山。やがて明治期にもたらされたヨーロッパ生まれのアルピニズムが大正期に一気に開花する。貴重な写真や絵、地図などを駆使し、詳細な写真説明とともに日本の登山の歴史をあますところなく伝える。
	2	書名	鎮守の森の物語
		著者名	上田篤／著
		出版社	思文閣出版
		出版年	2003.6
内容紹介	鎮守の森は心の故郷。森の気を吸い、緑と土に触れ、山の命の水を飲む。30年以上に亘り津軽から沖縄まで調査・研究にあたってきた著者の総決算		
3	書名	ウェストンが来る前から、山はそこにあった(信毎選書)	
	著者名	菊地俊郎／著	

		出版社	信濃毎日新聞社
		出版年	2014.8
		内容紹介	「近代登山の父とされるW・ウェストンから、日本の登山は始まった」という風潮に違和感を抱く山岳ジャーナリストが、登山と山岳の歴史を“地元目線”で掘り起こす。
	4	書名	戸隠信仰の諸相
		著者名	戸隠神社／編
		出版社	戸隠神社
		出版年	2015年5月
		内容紹介	目次:第1部 戸隠信仰と自然 第2部 戸隠信仰をめぐる諸問題 第3部 戸隠信仰が育んだ文化 第4部 戸隠信仰と集落
	5	書名	信濃古歌集
		著者名	平林富三／編
		出版社	平林富三
		出版年	1971年
		内容紹介	古くからの信州にまつわる歌720編がまとめられているが、その半数は山に関係している。姨捨、浅間、風越、有明等が多くみられる。
	6	書名	中箕輪尋常小学校の駒ヶ岳遭難
		著者名	箕輪町郷土博物館／編
		出版社	
		出版年	2012年10月
		内容紹介	平成24年度特別展の記録
雑誌	1	論題名	駒ヶ岳登山遭難事故と行政の対応
		著者名	橋詰文彦
		雑誌名	信濃
		出版年	2000
		巻号頁数	3次52巻9号
	2	論題名	近代学校教育における登山の隆盛とその意義
		著者名	橋詰文彦
		雑誌名	信濃
		巻号頁数	3次53巻4号
	3	論題名	山と五無齋
		著者名	牛山雪鞋
		雑誌名	信濃
		巻号頁数	1次5巻7号
インターネット情報	1	サイト名	「信州の山」ポータルサイト
		URL	https://www.pref.nagano.lg.jp/kikaku/yama/
	2	サイト名	信州地域史料アーカイブ
		URL	https://adeac.jp/shinshu-chiiki/
	3	サイト名	長野県立歴史館
		URL	https://www.npmh.net/
	4	サイト名	国立国会図書館サーチ
		URL	http://iss.ndl.go.jp/
新聞	1	記事	5Gで登山者見守り
		発行機関	信濃毎日新聞社(データベース)
		年月日	2019.1.29
	2	記事	太郎山 コース新設
		発行機関	信濃毎日新聞社(データベース)
		年月日	2018.1.18
	3	記事	南信州 山城めぐるバスツアー
		発行機関	信濃毎日新聞社(データベース)
		年月日	2017.11.8